

提出 順番	No. 10	令和 7 年 11 月 21 日 午前・ <u>午後</u> 時 5 分受領
----------	-----------	---

令和 7 年 11 月 21 日

幕別町議会議長 寺林 俊幸 様

幕別町議会議員 山端 隆治 

一般質問通告書

次のとおり通告します。

質 問 事 項	質 問 の 要 旨
鳥獣被害防止対策 について	近年、北海道内では野生鳥獣による農林水産業への被害は深刻化しています。北海道が公表した令和 5 年度(2023年度)の調査結果では、全道の被害額は63億6,900万円で、前年度に比べ5億2,500万円増加しました。そのうち、エゾシカによる被害が51億4,500万円で被害全体の8割を占めているとともに、ヒグマによる被害額も3億3,200万円で、過去最多を記録しました。これらの被害は、牧草をはじめ水稻、馬鈴薯、デントコーン、ビートなどの作物に及び、農林業経営や町民生活に大きな影響を与えています。 北海道では、令和 6 年12月に改定した「北海道ヒグマ管理計画(第2期)」において、人とヒグマの空間的なすみ分けを図る「ゾーニング管理」を導入しました。これは、ヒグマを保護する「コア生息地」、人間活動を優先する「防除地域・排除地域」、その間に設ける「緩衝帯」といったゾーンを設定し、人身被害の防止とヒグマ地域個体群の存続を両立させることを目的としています。このゾーニング管理は、国の「鳥獣被害防止総合対策交付金」等の活用においても前提とされており、今後のヒグマ対策の中核となるものです。 以上を踏まえ、幕別町としても北海道からの通知や周辺自治体の取組を参考に、町民の安全と農林業被害の防止を両立させるための対策が求められていると考え、以下の点を伺います。

	1 幕別町における令和6年度鳥獣別捕獲数は。 2 ゆとりみらい21推進協議会で所有している捕獲機材の種類と保有台数は。 3 ヒグマのゾーニング計画について 北海道ヒグマゾーニング管理ガイドラインに基づき、近隣の池田町では既にゾーニング計画を策定していますが、幕別町ではまだ導入されていません。町民の安全確保のため、幕別町としてゾーニング計画を策定する考えは。 4 鳥獣駆除を担うハンター等の安全対策について 鳥獣被害防止のために活動するハンターや鳥獣被害対策実施隊員の安全確保は極めて重要です。活動時の安全管理体制と町の支援策についての考えは。 5 エゾシカ防護柵の設置について エゾシカによる農作物被害を防止するため、防護柵の設置は有効な手段と考えられます。幕別町の西側に位置する帯広市沿いにおける、侵入防止柵の設置についての具体的な検討状況は。また、侵入防止柵を設置する考えは。
--	--

(注) 質問の要旨は、具体的に記載すること。